

# 女川原発2号の稼働停止を求め

\*山形・幸せの脱原発ウオーキング

\*さよなら原発 米沢

\*さよなら原発 酒田・飽海の会

の3団体で、東北電力へ申し入れ

東日本大震災・福島原発事故から15年、過酷事故を忘れたかのように各地の原発の再稼働を進めている。世界有数の地震国・火山国の原発は、重大事故のリスクがあり、増大する「核のゴミ」の最終処分が決まらない中の再稼働推進は納得できない

女川原発2号稼働停止を求め、避難計画の問題と使用済み燃料の処分について質問



## 記

1. 原発推進からの転換を求める。安全対策は新たな「安全神話」になる。

(1) 女川原発2号の再稼働のため、巨費を投じた安全対策工事の説明だが、北海道・三陸沖の大地震予測に耐えられる安全対策か。

新規制基準に合格したとはいえ、浜岡原発の地震動の不正を見抜けなかった規制委員会の審査、検査データは正確か？(貴社の東通原発でも監視センサーの手抜きが報道)

(2) 更に、女川原発3号機・東通原発 稼働予定なのか

2. 「複合災害」で避難計画は机上の空論だ

2年前の能登半島大地震は「自然界からの警告」と受け止めるべき

原発事故が重なった「複合災害」で、女川原発のある牡鹿半島住民は孤立を懸念  
避難計画の実効性が疑われてのを認識してるか

3. 核燃料サイクルは破綻

「使用済み燃料の処分」について  
国に意見具申すべき

「核ゴミ受け入れ」をするのか質問したら、県内全自治体が「受け入れない」と回答  
「核ゴミ」の最終処分が困難と認識するなら「核ゴミ」を更に増やす再稼働は容認できず

(1) 「核燃料サイクル」が事実上破綻し、最終処分場や再処理工場の稼働も不透明な中 高コストで危険性が増す使用済み燃料の「再処理」をやめ「直接処分」への転換を電力会社として国に意見具申を

欧米は「再処理」から「直接処分」へ転換。

(英国 25年に転換)

最終処分地が決まった

フィンランド・スウェーデンは「直接処分」

(2) 貴社の回答は、使用済み燃料は再処理事業者に搬出。

だが、女川原発敷地内での「乾式貯蔵施設」で半永久保管となるのでは？

「乾式貯蔵施設」での保管について地元住民説明会が必要では？

新100人参加し  
脱原発デモ 山形  
3.12  
原発に頼らない社会を目指し活動する市民団体「原発たくさんだhaa!」県民アクション」は11日、山形市内でデモ行進などを行い、脱原発を訴えた。  
約100人が参加した。  
東日本大震災の犠牲者への黙とう後、山形市民会館を発着点にデモ行進し「原発再稼働反対」などとシュプレ

レヒコールを上げた。行進後に集会を開き、震災を風化させず、原発反対を訴え続けることとしたアピールを採択した。(小田信博)  
女川原発2号機稼働停止を要望  
東北電に市民3団体  
東日本大震災の発生から15年に合わせ、山形市などの市民団体3団体は11日、東北電力女川原発2号機(宮城県)の稼働停止など

を求める要望書を同社山形支店に提出した。  
提出したのは「山形・幸せの脱原発ウオーキング」(山形市)、「さよなら原発 米沢」(米沢市)、「さよなら原発 酒田・飽海の会」(酒田市)。  
要望書では中部電力浜岡原発(静岡県)の耐震データ不正問題を受け、女川原発の安全対策に疑問を呈した。原発から出る高レベル放射性廃棄物(核のごみ)

の最終処分場建設の見通しが立っていない現状を踏まえ、核のごみを増やす再稼働は容認できないと強調。使用済み燃料を再処理せず埋める「直接処分」への転換を提案した。  
山形・幸せの脱原発ウオーキングの石沢光博共同代表は同日、県庁で記者会見を開き「国民の不安は増している。原発回帰の動きを見直す必要がある」と訴えた。(吉村瑛人)